

第3回全体会 意見交換まとめ(10/3)

【各分科会からの発表】

淡路地域ビジョン委員会のルールとして「分科会人数が5人以上で成立」となるため、希望人数が4人以下の分科会については、成立出来ない可能性あり。

分科会名	1. 淡路五山と歴史巡り 分科会
代表者 副代表者	堀井 裕右 近江 寛
分科会の最終目標	淡路五山を中心に、知られざる歴史の掘り起こし
年度毎の活動内容	令和2年度 ・淡路島三山（諭鶴羽山、先山、柏原山）の歴史発掘とルート開発 令和3年度 ・淡路五山（東山寺、浄瑠璃寺）＋α ・淡路島民でも知らない歴史の発掘
活動により期待される効果・狙い	・新たな観光資源の開発 ・若い層だけでなく、年配の方（アクティブシニア）や歴史好きの女子（歴女）をターゲットにする ・ハイキング、登山、歴史巡り、グルメと連携して観光コースと繋げる
その他	今年度中に実際に淡路三山のどこかを訪ねる予定

分科会名	2. 防災 分科会
代表者 副代表者	森崎 義彦 庄田 康夫
分科会の最終目標	市民の防災意識の高揚
年度毎の活動内容	<p>令和2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三市の活動の現状を知る（淡路市・洲本市・南あわじ市、県・淡路広域消防署） ・ 防災にかかる事業の実態 ・ コロナ禍での避難所運営（避難所HUG） ・ ひょうご防災リーダーの位置づけ ・ 視察（神戸防災センター他） <p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度の事業の具体化
活動により期待される効果・狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との交流 ・ 子供たち（+付き添いの年配の方）の防災意識を高めるためのイベント

分科会名	3. 健康・福祉 分科会
代表者 副代表者	顕谷 恭年 清水 真澄
分科会の最終目標	だれもが住みやすい地域をつくる
年度毎の活動内容	令和2年度 ・月1回の卓球バレー講習会（指導者養成） ・こけ玉、泥だんごを使った園芸療法をする
	令和3年度 ・卓球バレーの淡路島大会をする ・こけ玉、泥だんごを使った園芸療法を淡路全域に広げる
活動により期待される効果・狙い	・障害者スポーツを知ってもらい、理解を深め、地域の交流・活性化につながる ・ハンディキャップや高齢者の外出機会を創る

分科会名	4. 淡路島コミュニティづくり 分科会
代表者 副代表者	中舎 義博 尾曲 康生
分科会の最終目標	移住者と地元者との交流を深め、垣根を越え、みんな「淡路島民」となろう！
年度毎の活動内容	令和2年度 ・淡路市で実施されている交流会に参加し学ぶ ・淡路市で第1回の分科会を開催 令和3年度 ・淡路市・洲本市・南あわじ市の各市、淡路島全体で交流会を行う 例えば、園芸・100歳体操・特産品紹介・他の分科会とコラボ など
活動により期待される効果・狙い	・「移住者」「地元者」は関係なく、いろいろな人とながり、「知り合い」になる。そこから始まるコミュニティやサークル・仕事など、新しいことができる「淡路島」となる。
その他	洲本市・南あわじ市の方ぜひ当分科会に参加してください！現在淡路市の方が多い現状です。

分科会名	5. 農林水産 分科会
代表者 副代表者	保留
分科会の最終目標	持続化できるイベントの開催 淡路島の農林水産物のPR
年度毎の活動内容	<p>令和2年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年1月15日に伊弉諾神宮で行われる「農林水産祭」に参加 ・商品開発のための調査活動（売れるもの、作り方、PR面など） <p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分科会で商品を開発して、イベントの中で試食できるようにする （魚粉、魚醬、イノシシの油、鯛の押寿司（藻塩を使用する）） ・竹、魚のアラを利活用した農産物のブランド化
その他	<p>質問：具体的な商品化の案はあるか</p> <p>回答：まだ未定だが、色々調査したうえで我々でも企業に提案していけるようなものを探していきたい。</p>

分科会名	6. ゴミ焼却熱の活用と利活用を学ぶ 分科会
代表者 副代表者	保留
分科会の最終目標	昨年度に引き続き、淡路島のゴミ処理やリサイクルの在り方を考える
(年度毎の) 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進地の現地調査 ・ 三市と県の取組みの調査 ・ 調査内容の発表と展示会
活動により期待される効果・狙い	<p>・ 淡路島のゴミ処理施設3つ（夕陽が丘、やまなみ苑、奥畑粗大ゴミ処理場）を1つに統合し、人を呼べるような施設にする。</p> <p>（エネルギーを活用して、温水利用やテーマパークに）</p>
その他	<p>夕陽が丘クリーンセンター：契約満了</p> <p>やまなみ苑：耐用年数問題</p> <p>奥畑粗大ゴミ処理場：耐用年数問題</p>

分科会名	7. SDG s 推進 分科会
代表者 副代表者	保留
分科会の最終目標	SDG s を取組む人々のPR
(年度毎の) 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会を視察 ・淡路島でSDG s に取り組む人たちのPR ・ノルウェーなどとの世界連携
活動により期待される 効果・狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・既にSDG s に取り組んでいる人たちのネットワークをつくり、淡路島のSDG s を盛り上げる ・南あわじ市がノルウェーとの連携が決まったので、SDG s で世界をつなげる
その他	<p>質問：SDG s とは何か 回答：SDG s とは、国連で決められた「世界を持続させる17項目の目標」に取り組む活動であり、ビジョン委員会に挙げられている活動も全て17項目のうちに当てはまる。それらをPRしたり、ノルウェーと連携して学ぶ活動をしていく。</p> <p>質問：小学校や中学校にはPRしているのか 回答：これから小学校、中学校だけでなく大学なども勉強会をしていきたい。大学生などは、今後就職の基本にもなってくると思う。</p>

分科会名	8. 淡路島の自然の豊かさを学ぶ 分科会
代表者 副代表者	保留
分科会の最終目標	学生達と一緒に活動し発表イベントを行う
(年度毎の) 活動内容	県立淡路景観園芸学校の学生・先生と連携して、 ・ 自然環境の勉強会 ・ 海の世界を知る海岸清掃 ・ 陸の世界を知る竹林保全 などに取り組む ・ 全島清掃時に活動する
その他	※淡路景観園芸学校にはこれから打診予定

分科会名	9. 鳴門海峡の渦潮普及啓発 分科会
代表者 副代表者	関口 功 坂本 尚志
分科会の最終目標	渦潮を世界遺産に！
(年度毎の) 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校での渦潮勉強会（出前講座） ・ 全島海岸清掃に参加
活動により期待される効果・狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渦潮のメカニズム、自然現象の面白さを知ってもらい、渦潮の貴重さに誇りを持ってもらう ・ 子供たちが家族と話しをすることで、淡路島全体の気運を高め、世界遺産登録のボトムアップを担う ・ 世界遺産になれば世界中から観光客が来るため、農産物の売り上げ増加など様々なメリット・影響力が生まれる
その他	<p>質問：なぜノルウェーと連携していくのか</p> <p>回答：ノルウェーを含む世界6箇所にある渦潮と連携して、世界連携で渦潮を世界遺産にしようという動きである。ノルウェーが1番始めに呼びかけて了解をいただけた。</p>